

MINATOビジョン・タウンフォーラム
産業・地域振興グループ（第6グループ）
会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和7年10月16日(木)18時30分～21時00分

会場：港区役所9階 914会議室

メンバー：10名(欠席者3名)

【内訳】対面参加：10名、オンライン参加0名

事務局：企画課グループ担当3名、サポートメンバー3名、産業・地域振興支援部所管課長4名、委託事業者2名(うちファシリテーター1名)

■次第

(開会)

1 事務局より連絡

・配布資料の確認等

2 区の将来像のたたき台に関する議論

・区全体の将来像

・分野別の将来像

3 事務局より連絡

・MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

(閉会)

■配付資料

資料1 第3回グループ会議進行資料

資料2-1 区全体将来像案

資料2-2 分野別将来像案

資料3 MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第3回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

1 事務局より連絡

事務局から、配布資料の確認が行われた。

2 区の将来像のたたき台に関する議論

ファシリテーターから、資料内容の説明と本日の進め方について説明が行われた。その後、資料2

－ 1 及び資料 2－2 について、参加者から意見を聴取した。

(1) 区全体の将来像

ア 港区のこれまで

参加者：港区はこれまで、文化だけでなくアート（芸術）でも発展を遂げてきたので、2行目の「風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物」の部分には、美術館などのアートやクリエイティブの要素も入れてほしい。

参加者：2行目の「風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物」は唐突感があるので、先ほどの美術館や民間の建物名称を入れた方が良いでしょう。

参加者：今の文章は港区でなくても当てはまる内容になっており、港区の特徴を表せていないので、固有名詞は難しくても、皆が港区を思い浮かべることができるような港区らしさを追加した方が良いでしょう。

参加者：どこの自治体でも当てはまるような内容になっているため、より特徴的なキーワードを追加しても良いと思う。

参加者：企業は難しいかもしれないが、ランドマークは入れても良いと思う。

参加者：例えば「増上寺」を皆が思い浮かべられるようなキーワードを入れられると良い。

参加者：「ひいては」という言葉はあまり好みではない。「さらには」などいかがか。

参加者：「まちが変わりゆく中でも」とあるが、「古き良き街並み」や「変わらない良さ」といった要素を2ブロック目に追加してはどうか。

参加者：「鉄道発祥の地」とあるが、放送局があることも港区の特徴なので、その要素をいれてほしい。

参加者：「暮らしに根付いた」とあるが「暮らしの営みに根付いた」としてはどうか。3ブロック目は人に焦点を当てていることから、人の生活をイメージさせるような「営み」というワードを追加した方が良いでしょうと思った。

参加者：暮らしの営みについては賛同する。町会の飲み会に参加したとき、区に住んでいる人も、住んでいない人もいる場だったが、人の温かさを感じたので、この点にはフォーカスしたい。

参加者：「暮らし」は個人の生活を表しているイメージがあり、人と人とが関わりあっている様子を表すような温かみのある言葉である「営み」を追加してほしい。

参加者：「港区ならではのです」とあるが、話し言葉なので、「港区ならではの●●です」にした方が良いでしょう。

参加者：「●●」は「魅力」かなと思ったが、このブロックの最終行に「魅力です」とあるため、違う言葉の方が良いか。

参加者：港区より自然が豊かな区はあるので「ならではの」ではないのではないか。都心にありながらも「意外と自然がある」といったニュアンスの方が良いのではないか。

参加者：歴史や伝統があり、最先端なまちで交通も便利、活気もあるのに、実は自然も豊かであるという方がカッコイイと思う。

参加者：「ビルがいっぱいなのに」のように、都市の中で見られる自然といったニュアンスが良い。

参加者：「都心に広がる海や運河」の表現が気になる。現実には、都心に広がるオアシスのような感じではなく、むしろ埋め立てが進んでいる。

参加者：「自然と最先端が共存する」のような方が、港区ならではだと思ふ。

参加者：「自然の豊かさも港区ならではです。」の冒頭に、「都心でありながら」と追加するのはどうか。

参加者：自然としての海というよりは、景観として海があるといったニュアンスにしたらどうか。

参加者：もっと港区を表せる表現があったら良いなと思ふ。

参加者：多くのメディアが区内にあるので、東京タワーや放送局というワードも入れると良い。「流行の発信地」のような意味合いで入れられたら良い。

参加者：放送局や発信力があることを踏まえて、トレンドの発信やブランド化といったニュアンスを加えてはどうか。

参加者：全てポジティブな視点の内容になっている。将来像につなげるなら、課題があつて、その課題を解決するための将来像を描くという方が分かりやすいように思ふ。あえてネガティブなことは書かないようにしているのか。

参加者：「港区にこうなつてほしくない」という要素があまり記載されていない印象がある。ネガティブな課題を織り込んで良いと思ふ。

事務局：あくまでも一般論だが、計画を策定する際は、より具体的な施策などを検討するとき、課題を捉える傾向がある。課題になると話が具体的になるので、今回のような将来像を考える際はそこまで踏み込まないケースが多い。

イ 2040年代の港区の将来像

参加者：「まち」はなぜひらがなのか。

事務局：ハード面とソフト面、両方のまちを捉えられるため、「まち」としている。

参加者：ひらがなは読みづらく、違和感があるので、鍵括弧を付けた方が分かりやすい。

参加者：「時代の変化を受け止めるだけでなく」とあるが、港区は時代の変化を受け止めるより発信してきた側なので、「時代の変化を受け止めるだけでなく」といった表現が変に強調されているように感じる。重要で強調したい部分は次の「トップランナーとして新しい風を巻き起こしている」のところなので、「時代の変化を受け止め、」くらいの表現で良いのではないか。

参加者：「歴史や文化を礎に」とあるが、文化のなかでもアートの要素、クリエイティブの要素を打ち出したい。

参加者：「大切にしてきた歴史や文化」とあるが、産業やビジネスの要素も欲しい。また、産業の発展によって、暮らし以外にも豊かになっていくのではないか。

「トップランナー」というと産業やビジネスのイメージが強い中で、次の行では「暮らしが豊かになっていく」と住んでいる人を想定した表現となっている。全体的に住民目線の文章であるのに「トップランナー」という言葉が出てくることにずれ（温度差）を感じる。

参加者：「暮らしが豊かになっていく」の文章は、「トップランナー」を生かした文章になると良い。

参加者：「困ったときには、互いに助け合い、支え合う。」とあるが、困っていなくても日常的に助け合っているので、「困ったときには」は不要ではないか。

参加者：「誰もが憧れる都会」ではなく、「国際都市として発展しながらも」を追加したり、「多

くの人が魅力を感じる都市」とした方が受け入れやすい。自分たちで「憧れる」と言ってしまうのは、区外の人に都会に憧れるよう押しつけているようで違和感がある。
参加者：区民に向けた総合計画であるという点を捉えた表現にした方が良い。具体的な事実を記載した方が分かりやすい。

参加者：「将来こうなりたい」ということであれば違和感はないかもしれない。

参加者：「都会」であることに憧れない人もいるので、「都会」よりも「まち」の方が良いのではないか。

参加者：リード文の「歴史と最先端」は2文字と3文字の単語だが、他は「都会と自然」「地域と世界」と、2文字と2文字の単語となっている。「歴史と最先端」を「伝統と革新」などにして、全て2文字と2文字の単語にした方が統一感があっていいのではないか。

参加者：上の「地域と世界」「都会と自然」「歴史と最先端」と下の小タイトルは、よく読めば対応していることが分かるが、対応関係が分かりにくい。

ウ 2040年代に向けて大切にしていこう

参加者：「多様な価値観を認め合う」の説明文の中に「地域と世界」とあり、次の小タイトルは「地域の可能性を生かす」となっていて、それぞれ「地域」という言葉が出ているので、重複しているように感じる。「地域」の考え方を整理した方が良いと思う。

参加者：「2040年代の港区の将来像」の「伝統と革新」「都会と自然」「地域と世界」と、「2040年代に向けて大切にしていこう」の3つの想いを対応させた方が良い。

事務局：「2040年代に向けて大切にしていこう」は「2040年代の港区の将来像」と一対ではなく、「2040年代の港区の将来像」を実現するために「2040年代に向けて大切にしていこう」(理念)を掲げているというイメージである。「2040年代の港区の将来像」に横断的に関わってくるものとして考えていただきたい。

参加者：そのように読むことはできなかった。

参加者：「2040年代に向けて大切にしていこう」も「2040年代の港区の将来像」も同じ3つだから分かりづらいのだと思う。

参加者：「多様な価値観を認め合う」と「一人ひとりの幸せを願う」の内容は重複しているような気がする。

事務局：「多様な価値観を認め合う」は、対比する考え方やものがあっても多様性を認めるという意味であり、「一人ひとりの幸せを願う」の部分は住んでいる人を大切にする、人の性質の多様性を表している。

参加者：人としての多様性は「一人ひとりの幸せを願う」で、まちとしての多様性は「多様な価値観を認め合う」ということか。

参加者：「多様な価値観を認め合う」の内容が、「互いを尊重し認め合いながら」と人の話になっているように感じるので、「一人ひとり幸せを願う」と重複感があるのではないか。「多様な価値観を認め合う」の部分が事象の話で、まちとしての多様性を表したいのであれば表現を変えた方が良い。

参加者：「互いを尊重し認め合いながら」だと人の多様性についてであるように思うので、「融合しながら」などはどうか。

参加者：「互いを尊重し認め合いながら、一人ひとりの幸せを願う」はどうか。

参加者：「一人ひとりの幸せを願う」のパートに唐突感がある。この視点は現在も大切な部分で

あるし、港区で言及するには大きすぎる話ではないか。なぜこれば必要なのか、記載した背景を教えてください。

参加者：そもそも3つに分ける必要があるのか。3つのブロックに分けずに、「港区のこれまで」と同じように、一つの文章でも良いのではないか。分類するから重複が気になるのだと思う。

参加者：「大学」とあるが、港区には小中高もあるので、「教育機関」にしてはどうか。

参加者：リード文に「想いを一つ」とあるが、次の行に「3つの想い」とある。数字が複数あると少し分かりにくい。「想いを一つ」を、「想いを重ねる」や「想いをつなぐ」などの表現にしてはどうか。

参加者：「地域の可能性を生かす」の説明文の中で「区民の幸せと」とあるが、ここまで産業など区民以外のことにも触れている中で、ここでは突然「区民」に限定している。「港区に関わる人すべての幸せ」のように区民以外も含めてほしい。「一人ひとりの幸せを願う」の説明文ではそのようになっている。

参加者：現行の計画のキーワードは引き継いだ方が良いのではないか。引き継ぐことで港区らしさが出てくると思う。

参加者：「想いを一つ」といいながら、「多様な価値観を認め合う」とするところが矛盾しないか。

(2) 分野別の将来像

参加者：港区の具体的な産業（メディアなど）に触れなくて良いのか。

事務局：区内には飲食店が多いなどの特徴はあるが、特定の分野の企業が突出して多いわけではない。今回はあくまでも将来像なので、特定の産業にフォーカスせず、広く捉えていただきたい。

参加者：イノベーションが経済的発展につながるということが重要であるため、大使館を活用した国際交流を図り、海外への輸出や魅力発信につながるような内容があると良い。「日常的な新たな価値が創出されています」のあとに、技術革新やイノベーションがベースにあり、海外に広がっていくというニュアンスを追加してほしい。

参加者：「経済都市」を「国際経済都市」としてはどうか。

参加者：「シェアオフィスやクリエイティブスペースとして活用されるなど空室はなく」の「空室はなく」がネガティブな表現に感じるため、「有効に活用され」の方が良いのではないか。

参加者：港区のブランドを高めることは全体に共通する内容であるので、「ブランド」という言葉を、全体に共通する上の部分か下の部分に追加した方が良いと思う。

参加者：「人と企業が交差するクリエイティブシティ」の意味がよく分からない。意図が知りたい。

参加者：カタカナにせず、先ほどの「国際経済都市」にした方が分かりやすいかもしれない。

事務局：住んでいる人、学生、働いている人、企業同士など、色々な人たちが交差するイメージである。

参加者：イノベーションが起きているようなイメージか。イノベーションの源流が「人と企業が交差する」ということだと思うが、その説明がないため、分かりづらくなっている。「世界から選ばれる経済都市」の部分で、世界から選ばれ、人が集まり、多様な考えが生まれるからこそ、イノベーションが生まれるというストーリーが表現できると良い。

参加者：「クリエイティブシティ」を「グローバルクリエイティブシティ」にしてはどうか。

参加者：ここまで海外の人々に寄り添う内容となっているにもかかわらず、ここで「外国人」という表現を使用することは、人々を区切ってしまっているように聞こえるので、「外国人」という言葉ではなく、「訪れる全ての人」「世界中の人」などはいかがか。

参加者：「世界中の人」だと「港区の」という視点がなくなってしまう気がする。

参加者：「高齢者」も同様に区切ってしまっているような気がする。

参加者：「年齢や国籍に関わらず」が良いのではないか。

参加者：「織りなす。」だと1行目と2行目が別々のものであるように感じるので、「織りなし、」にしてはどうか。

参加者：最後の文章に「多様な価値観が響きあう」とあるが「多様な価値観が重なる」にしてはどうか。一番上の「織りなす」と「重なる」で関連がある表現だと良い。

参加者：最後の文章に「区民一人ひとり」とあるが、区民に限定しない方が良い。

参加者：「区に関わる全ての人」など。働きに来る人も区を訪れる人も主役にしたり尊重したりすることは、港区らしさだと思う。ここはこだわりたい。

(3) 今後の進め方

事務局：本日出された意見をもとに、資料2-1と資料2-2を事務局が修正する。修正後の内容確認は全員で行うか、リーダーに一任するか。

(リーダーに一任することで了承)

3 事務局より連絡

MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について説明されたのち、報告会での発表者3名が決定された。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。